

特定施設設置届出書

【記載例 クリーニング業】

令和 ○年 ○月 ○日

鹿沼市下水道事業管理者
鹿沼市長 様

申請者

住 所 鹿沼市千手町 2599
電話番号 0289-65-3607
氏名又は名称及び
法人にあっては (株)いちごクリーニング店
その代表者の氏名 代表取締役 佐藤 新太郎

印

下水道法第 12 条の 3 第 1 項（下水道法第 25 条の 10 において準用する同法第 12 条の 3 第 1 項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業所の名称	(株)〇〇クリーニング工場	※整理番号	
工場又は事業所の所在地	鹿沼市今宮 1688-1	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	67 洗たく業の用に供する洗浄施設	水質汚濁防止法施行令別表第 1 に掲げる番号及び施設の名称	
△特定施設の構造	別紙のとおり	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり	※備考	
△汚水の処理の方法	別紙のとおり		
△下水の量及び水質	別紙のとおり		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり		

備考

- 申請者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄は、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむをえないものを除き、日本工業規格 A 4 とすること。

特定施設の構造

特定施設の情報を記入

工場又は事業場における施設番号	No. 1	No. 2
特定施設番号及び名称	No. 67 洗たく業の用に供する洗浄施設 (水洗機)	No. 67 洗たく業の用に供する洗浄施設 (パーク機)
型 式	全自動洗濯脱水機 A社製〇×ーH型	カタログ記載等に記載されている仕様を参考に記入
構 造	主要部ステンレス製	主要部ステンレス製 主要な材質を記入 (鉄製、木製、 コンクリート製)
主 要 寸 法	幅 3900mm 奥行 1700mm 高さ 2100mm	幅 1600mm 奥行 850mm 高さ 1150mm
能 力	15kg / 回	単位時間当たりの生産個数や処理時間 等、製品の生産能力
配 置	別紙配置図参照 (1機)	当該特定施設及び関連主要機器・装置 の配置図
設 置 年 月 日	年 月 日	設置届、構造変更届の場合：記入不要
工事着手予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日
工事完成予定年月日	令和 〇年 △月 △日	令和 〇年 〇月 〇日
使用開始予定年月日	令和 〇年 □月 □日	令和 〇年 〇月 〇日
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細はカタログ参照 (水洗式) ・ 床は厚さ100mmのコンクリート ・ 周囲に約10Lの防液堤 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細はカタログ参照 (ドライ式)

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
「設置年月日」の欄には、法第12条の3第1項及び法第12条の7に基づく、特定施設の設置の届出及び特定施設の構造等の変更の届出の場合には、届出者の本欄への記載は不要です。

特定施設の使用方法

特定施設の使用方法についての情報を記入（業務での使用時間や使用方法等）

工場又は事業場における施設番号	No.1	No.2				
特定施設番号及び名称	No.67 洗たく業の用に供する洗浄施設（水洗機）	No. 67 洗たく業の用に供する洗浄施設（パーク機）				
設置場所	別添△配置図参照	特定施設及びこれに関連する主用機械等の配置図を添付				
操業の系統	別添□処理系統図参照	作業工程のフローシートを添付し、工程における他の特定施設と区分				
使用時間間隔	10時～18時	12時～17時 使用する時間帯を記入（○時～○時）				
1日当たりの使用時間	8時間/日	4時間/日				
使用の季節的変動	夏季は2割増	夏秋は2割増 季節により使用状況が変わる場合はその概要を記入				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	○○クリーン 洗剤 ○○kg/日 △△ソフラン 柔軟仕上げ剤 ○○kg/日 コーンスターチ （のり付け） ○○kg/日	○○パーク用ソープ （テト 洗剤 活性				
		特定施設を含む作業工程において、水以外の原材料や薬品等の使用状況を記入。なお、原材料は商品名だけでなく含有物質名を記入				
汚水等の汚染状態	種類・項目（単位）	通常	最大	通常	最大	
	アンモニア性窒素等含有	10	20			
	PH	9～10	9～10			
	BOD	100	120	特定施設より排出される汚水の汚染状況について記入。 関連する項目のみで差支えなし		
	SS	90	100			
	n-ヘキサン抽出 動植物油脂類	20	30			
	窒素含有量	3	24			
	りん含有量	1	3			
テトラクロエレン	0.03	0.05				
汚水等の量 （m ³ /日）	通常	最大	通常			最大
	30	40	特定施設から排出される汚水の量を記入			
その他参考となるべき事項	全自動泉水洗機 A社製 ○○—△△		密閉式のため排水なし			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No.3								
処理施設の設置場所	別添△配置図参照								
設置年月日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日					
工事着手予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日					
工事完成予定年月日	令和 〇年 △月 △日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日					
使用開始予定年月日	令和 〇年 □月 □日	令和 年 月 日	令和 年 月 日	令和 年 月 日					
種類及び型式	自動式 C社製 ○〇—△△								
構造	合金製								
主要寸法	別添△資料参照								
能力	〇〇m ³ /日 (選定根拠：流量計算)								
処理の方式	中和+凝集沈殿+砂ろ過								
処理の系統	別図△(フローシート)参照								
集水及び導水の方法	塩ビ管による自然流下 別添△配置図参照		集水及び処理施設までの導水方法を記入						
使用時間間隔	10時～18時								
1日当たりの使用時間	8時間/日								
使用の季節変動	夏秋は2割増								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	PAC 〇kg/日								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目(単位)	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	アンモニア性窒素等含有	10	10	20	20				1
	PH	9～10	7～8	9～10	7～8				
	BOD	100	50	120	60				
	SS	90	9	100	10				
	n-ヘキサン抽出 鉱油類								
	n-ヘキサン抽出 動植物油脂類	20	5	30	5				
	窒素含有量	3	3	24	20				
	りん含有量	1	1	3	3				
テトラクロエチレン	0.03	0.03	0.05	0.05					
量(m ³ /日)	30	30	40	40					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	余剰汚泥(繊維くず等) 〇kg/月 残さは業者へ委託し産廃処理				残さの種類：(例)「酸化鉄スラッジ」〇〇t/月				
排出水の排出方法	排水口 ⇒ 公共下水道				公共下水道に排除する場合は、「公共下水道」				
その他参考となるべき事項	残さ収集運搬・処理業者 〇〇クリーンセンター TEL 0286-00-0000								

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載してください。

排水口から放流する水の汚染状況について記入

排出水の汚染状態及び量

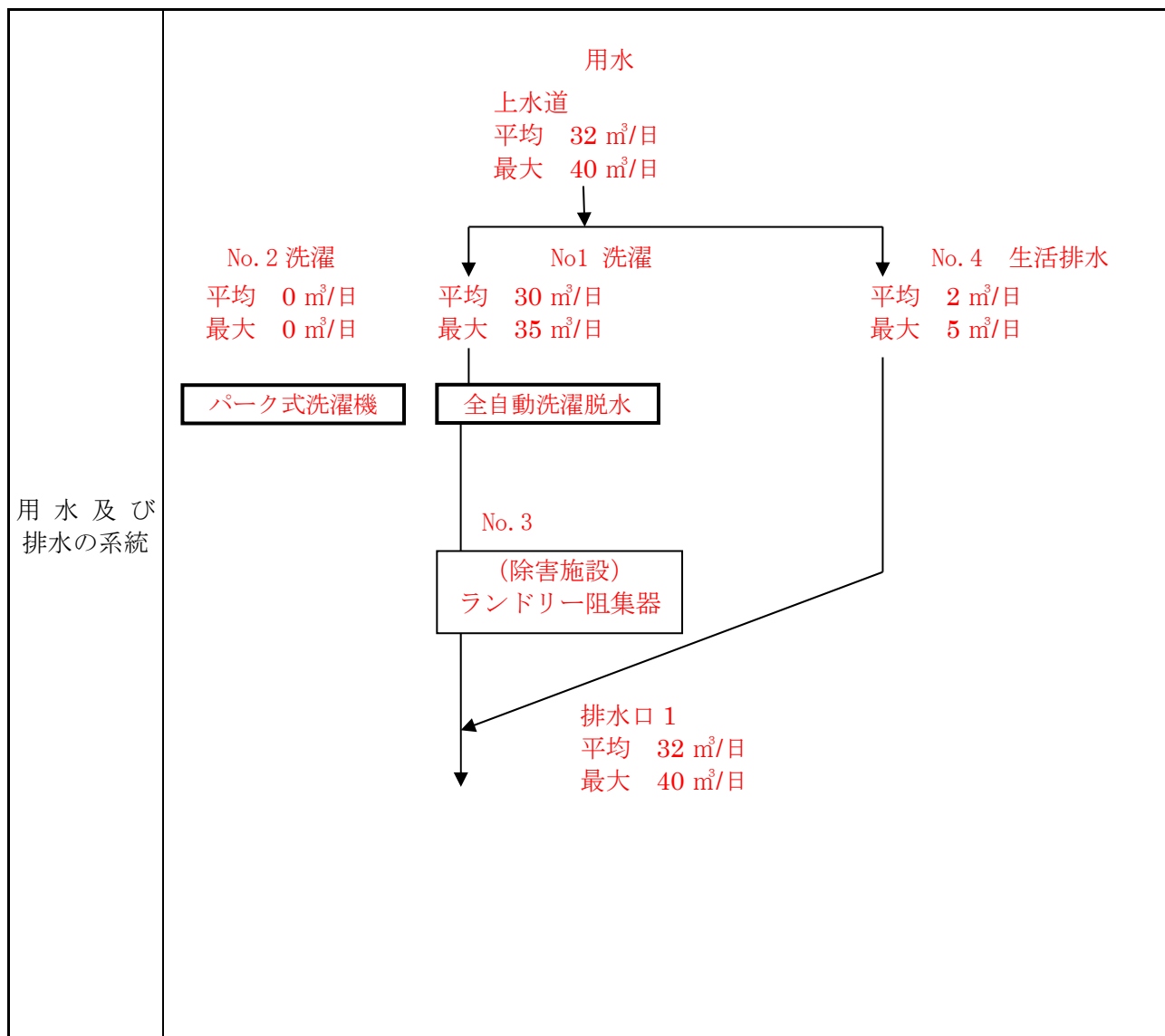
排水口が複数ある場合は、排水口1、2、3・・・のように欄を分けて記入

工場又は事業場における施設番号 (排水口の名称)		排水口 1			
排出水の汚染状態	種類・項目 (単位)	通常	最大	通常	最大
	アンモニア性窒素等含有	10	20		
	PH	7~8	7~8		
	BOD	50	60		
	SS	9	10		
	n-ヘキサン抽出 鉱油類	1	1		
	n-ヘキサン抽出 動植物油脂類	5	5		
	窒素含有量	3	20		
	りん含有量	1	3		
	テトラクロエチレン	0.03	0.03		
排出水の量 (m ³ / 日)		通常	最大	通常	最大
		32	40		
その他参考となるべき事項		<ul style="list-style-type: none"> 敷地内における排水経路及び排水口の位置図 案内図 			

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排出基準に定められた事項について記載してください。

用水及び排水の系統

用水と排水の系統について、
全体の流れを記入



	用 途	使 用 水	用水使用量 (m ³ /日)
用途別 用水使用量	全自動洗濯機	上水道	30
	パーク式洗濯機	上水道	0
	生活排水	上水道	2
合 計		計	32

別紙7

その他の参考事項

届出等担当者	所属, 職名	㈱いちごクリーニング店 ○○○課		
	連絡先	住所 鹿沼市千手町 2599 Tel 0289 (65) 3607		
	氏名	佐藤 いちご		
事業場規模	資本金	○, ○○○, ○○○ 円		
	年商額	○, ○○○, ○○○ 円		
	従業員数	総従業員数	○○ 人	
		正社員	○○ 人	臨時社員 ○○ 人
	敷地面積	○○○ m ²		
建屋面積	○○○ m ²			
主要製品 (加工, 処理を含む)	主要製品名	生産量 (/年)	備考	
	ワイシャツ	○○○着/年		
	毛布	○○○枚/年		
除害処理施設	設計施行者	○○○ (株)		
	工事費用	○, ○○○, ○○○ 円		
	資金内訳	自己資金	○, ○○○, ○○○ 円	
借入金		円		
<p>特定施設が関係する製造工程の概要</p> <p>受付 → 選別 → 洗浄 → 仕上げ → 包装 → 引渡し</p>				
その他	<p>1 工場・事業場の平面図（建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設及び排出水の測定場所を朱塗すること。）</p> <p>2 工場・事業場の案内図（工場・事業場に至る経路を記載）</p> <p>3 届出書及び別紙に記載している事項については、あらためて記載を必要としない。</p>			